

製品名: Axl ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07392**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	AXL UFO
別名	AXL; UFO; Tyrosine-protein kinase receptor UFO; AXL oncogene
遺伝子 ID	558.0
SwissProt ID	P30530
免疫原	Axl 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 630-710

背景

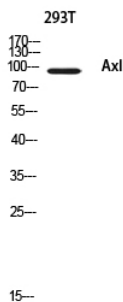
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Tyro3-Axl-Mer (TAM) 受容体チロシンキナーゼサブファミリーのメンバーです。コードされるタンパク質は、N 末端に 2 つの免疫グロブリン様モチーフとそれに続く 2 つのフィブロネクチン III 型モチーフからなる

細胞外ドメインを有しています。このタンパク質は、ビタミン K 依存性タンパク質増殖停止特異的タンパク質 6 (Gas6) に結合して、細胞外マトリックスから細胞質へシグナルを伝達します。この遺伝子は、複数の細胞種において、増殖、遊走、凝集、抗炎症など、様々な細胞機能に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、この遺伝子には複数の転写バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2013 年 7 月],触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。疾患: 慢性骨髄増殖性疾患または慢性骨髄性白血病患者において形質転換能を有する。機能: 中胚葉起源の特定の細胞種間のシグナル伝達因子として機能する可能性がある。フィロウイルス感染の場合、細胞侵入因子として機能すると考えられる。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。Tyr タンパク質キナーゼファミリー。AXL/UFO サブファミリー。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性: 2 つのフィブロネクチン III 型ドメインを含む。類似性: 2 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。サブユニット: GAS6 とのヘテロ二量体およびヘテロ四量体。組織特異性: 転移性大腸腫瘍で高発現。原発性大腸腫瘍で発現。正常大腸組織で弱発現。

研究分野

細胞生物学

画像データ



Axl 抗体を用いた 293T のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。